

令和7年度小学校教科担任制実施報告書(高学年型)

学校名
呉市立呉中央小学校

1 学校の概要

(1) 学校の学級数

学級数	通常学級							特別支援学級	合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		
	3	3	3	3	3	3	18	7	25

2 加配教員が専科指導を行う教科及び週当たりの担当授業時数

(1) 第5、6学年の指定教科

指導教科名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
体育	5	3	2.6	7.8	
体育	6	3	2.6	7.8	
外国語	6	3	2	6	

授業時数 計 21.6 (a)

(2) その他

指導教科等名	指導学年	指導学級数	1学級当たり時数(週)	授業時数(週)	兼務校での実施
				0	

授業時数 計 0 (b)

授業時数 合計 21.6 (a)+(b)

3 教科担任制推進教員を配置した授業計画

教科等	国語	書写	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	道徳	総合	特別活動
週当たり標準授業時数	5		3	5	3	1.4	1.4	1.6	2.6	2	1	2	1
6年 1組 (担任: A)	A	専科	A1 B2	A	専科	A	A	C	推進	推進	A	A	A
6年 2組 (担任: B)	B	専科	B	B	専科	A1 B0.4	A1 B0.4	C	推進	推進	B	B	B
6年 3組 (担任: C)	C	専科	C1 B2	C	専科	A1 C0.4	A1 C0.4	C	推進	推進	C	C	C
週当たり標準授業時数	5		2.9	5	3	1.4	1.4	1.7	2.6	2	1	2	1
5年 1組 (担任: D)	D	専科	D0.9 F2	D	専科	D0.4 E1	D0.4 E1	専科	推進	D	D	D	D
5年 2組 (担任: E)	E	専科	E0.9 F2	E	専科	E	E	専科	推進	D	E	E	E
5年 3組 (担任: F)	F	専科	F	F	専科	F0.4 E1	F0.4 E1	専科	推進	D	F	F	F

4 高学年担任が指導を行う教科等及び週当たり授業時数

学年・学級	児童数(人)	担任	担任する学級以外の授業時数(週当たり)			担任する学級の授業時数	授業時数の合計	
			指導学年・学級	教科等名	時数			
6-1	31	A	6-2	音楽	1	4	16.8	20.8
			6-3	音楽	1			
			6-2	図工	1			
			6-3	図工	1			
6-2	30	B	6-1	社会	2	4	16.8	20.8
			6-3	社会	2			
6-3	30	C	6-1	家庭	1.6	3.2	16.4	19.6
			6-2	家庭	1.6			
5-1	29	D	5-2	外国語	2	4	16.7	20.7
			5-3	外国語	2			
5-2	29	E	5-1	音楽	1	4	16.7	20.7
			5-3	音楽	1			
			5-1	図工	1			
			5-3	図工	1			
5-3	29	F	5-1	社会	2	4	16.7	20.7
			5-2	社会	2			

5 成果と課題

(①授業の質の向上、②多面的な児童理解、③小・中学校の円滑な接続、④教師の負担軽減、⑤その他)

〈効果のあった取組〉	
①	授業の質の向上【体育】 ・記録の伸びがみられない児童のために遊びの要素を入れたボール投げ運動を行った。 ・肩回りを柔らかくするための柔軟運動を授業始めに行った。
①	授業の質の向上【外国語】 ・English questionリレー、フォニックス、リアクション練習を行った。
②	多面的な児童理解 ・日常的に情報を共有した。
③	小・中学校の円滑な接続 ・体育科においては、第5・6学年の2年間を通した継続的な指導を行った。 ・第5・6学年ともに、6名の教師が授業に関わった。



〈成果〉	
①	授業の質の向上【体育】 ・継続的に補強運動を行うことで、ソフトボール投げの全国平均を上回る児童の割合が学校目標数値50%を上回った。(5年生68% 6年生72%)
①	授業の質の向上【外国語】 ・授業の始めに継続して行うことで、コミュニケーションを図る基礎となる資質能力を高めることができた。
②	多面的な児童理解 ・放課後に授業での様子を共有することで、児童の様々な場面での様子を把握することができた。(いろいろな先生と話す機会が増えた 94.9%) ・相談したいことのある児童が、相談内容によって、担任ではなく教科担任制推進教員や同学年の他学級の担任に相談することがあった。(相談できる先生が増えた 92%)
③	小・中学校の円滑な接続 ・体育科において、段階的に学ぶことができ、技能がしっかり定着した。 ・中学校の教科担任制に対する不安の解消につながった。(91.4%)



〈課題〉	
①	授業の質の向上【体育】 ・ソフトボール投げだけでなく、本校の重点3種目(50m走、立ち幅跳び)をさらに強化していく。
①	授業の質の向上【外国語】 ・中学校の英語とのつながりを考えると、実際に会話する機会や書く活動が不十分である。
②	多面的な児童理解 ・児童数・学級数が多いため、情報共有が不十分な場合がある。
③	小・中学校の円滑な接続 ・中学校とのつながりのある授業について、指導が不十分な場合がある。

〈対策〉	
①	授業の質の向上【体育】 ・授業の始めの補強運動を計画的・継続的に行い、様々な運動能力の向上につなげる。
①	授業の質の向上【外国語】 ・ALTと会話をする機会を増やし、実践的な学びをさせていく。また、書く力を身に付けさせていく。
②	多面的な児童理解 ・時間を見付けて、日常的にコミュニケーションを図っていく。
③	小・中学校の円滑な接続 ・指導者自身が中学校の学習内容を把握し、つながりのある授業を行っていく。